

令和5年沼津市教育委員会 第1回定例会会議録

1 日 時 令和5年1月17日(火)
午後3時00分～午後3時43分

2 場 所 沼津市立第四小学校 会議室
※Web会議システムにより教育委員は出席

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(川口委員 土屋委員)
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
- (5) 協議事項
- (6) 報告事項
報告事項1 令和5年二十歳の集い及び二十歳の議会について
- (7) その他
- (8) 報告事項
報告事項2 交通違反(事故)に係る指導措置について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 土屋葉子、委員 重光純、
委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 山崎巖、
教育企画課長 原将史、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、
学校教育課情報教育推進室主査 三須洋明、教育企画課指導主事 松岡ミュキ、
教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 新しい年を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。本年もよろしくお願ひする。皆様、気持ちを新たに今年目標、あるいは、願ひを掲げたことと思う。ウサギが飛び跳ねるように、今年は今までの数年間から大きく飛躍し、健康で安全安心な生活ができるよう大きく向上する年になってほしいものである。本日1月17日は、6,434人が亡くなり、現在も3人の方が行方不明である阪神淡路大震災が起きて28年目になる。100年前の9月1日に起きた関東大震災は、木造住宅が密集する地域での火災被害が大きくなったため、主に焼死により日本の災害で最悪となる10万人を超える死者、行方不明者を出した。午前11時58分、ちょうど昼食を支度するころだった。そして、12年前の3月11日に起きた東日本大震災では、主に津波による水死で2万人を超える戦後最悪の死者、行方不明者を出した。これと比べ阪神淡路大震災では、断層沿いに被害が集中し被災地域が狭かったものの、冬の早朝に発生したということで、自宅で就寝中の方が多かったために、主に圧死で6,000人を超える死者を出してしまった。甚大な被害を伴っ

た震災があった神戸市中央区の公園、東遊園地では、今朝、市民団体や神戸市などで作る実行委員会による追悼の集いが開かれた。地震が発生した午前5時46分に、静かに手を合わせて犠牲者に黙祷を捧げた。この公園には、犠牲者を追悼する灯籠が、震災が起きた日を表す「1.17」の数字と「むすぶ」というひらがなの文字の形に並べられた。「むすぶ」という文字は、震災を経験した人が震災を知らない世代に語り継ぐなど、得られた知恵・教訓を伝えていきたいという思いが込められているそうである。震災を経験していない世代が増える中、記憶や教訓がどう継承されていくのかが大きな課題となっており、遺族の代表が、「生と死は両極にあるのではない。皆の心から忘れ去られたときに、本当の死が訪れる。今を大切に、今を大事にして生きることの素晴らしさを多くの人に伝えたい。」と話したのが印象に残った。

一方、市内の小中学校では、3学期がスタートして10日程経ったが、新型コロナウイルス第8波の勢いは止まらず、1月11日から学級閉鎖が連日報告されている。本日時点で、小学校では2校で3学級、中学校では1校1学級が閉鎖しており、明日からは小学校3校で学級閉鎖が3つ加わり、また、インフルエンザにより、別の小学校で1学級が閉鎖されるとの報告が入っている。特に、大岡校区、金岡校区は、大変な状況であるようだ。すでに公立、私立の中等部入試が終わったが、沼津市立沼津高等学校中等部入学者選抜では、1人がコロナ感染により受験ができなかった。また、教職員の感染状況だが、今週末まで自宅待機をする者が6人おり、インフルエンザも広がっている。教育委員の皆様も是非御自愛いただきたい。

只今より、令和5年沼津市教育委員会第1回定例会を開会する。今回は、非常時においても必要な会議を円滑に行えるようにするため、Web会議システムを試行的に活用しての開催となる。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、土屋委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長

1月7日に市民文化センターにて開催された静岡県書道連盟書初展東部沼津・裾野地区展授賞式に参加した。静岡県書道連盟は、昭和22年に発足し今年度75周年を迎えており、他県にはみられない流派、会派を問わず全県下一丸となって活動している歴史ある団体である。今回は、全県で1,100を超える作品が集まり、それぞれの作品からは、新年への希望や意欲、作品に向かう集中力と緊張感が伝わってきた。そもそも書初めは、年が明けて初めて毛筆で書や絵をかくものであり、元をたどると、平安時代に宮中の儀式であったものが、江戸時代に庶民へと広がった由緒ある伝統行事であると言われている。書道は精神を整え、心を豊かにする。筆と硯を前にして気持ちを静め、一つ一つの所作に集中する時間を持つことは、時間に追われがちな現代社会においては、とても貴重な経験であるのではないかという話をさせていただいた。

先程も少し触れたが、1月7日、8日には、沼津市立沼津高等学校中等部入学者選抜が行われた。新型コロナウイルス感染症の影響を懸念していたが、両日とも大きな混乱なく実施することができた。今年は80人の定員に対し100人が志願し、志願倍率は1.25倍であった。明日18日に結果を通知することになっている。

1月8日に沼津市役所本会議場にて二十歳の議会を開催した。年末から新型コロナウイルスの感染拡大が再び心配される中ではあったが、行動制限のない年末年始を迎えた。予断を許さない状況だったが、感染防止対策に十分留意した上で、18人の二十歳の議員を迎えて会議を行うことができた。令和4年4月の民法改正によって、今年、「新成人議会」から「二十歳の議会」に名称を変えたところである。詳細については、この後事務局より報告をするが、私はこの職に就く前に第五中学校の校長であった。元校長・恩師ということで、午前中に第五校区の二十歳の集いに出席した。その場では、これまであたり前だと感じていた平和や安全、健康が揺らいだこの5年間、卒業してから5年経ったが、先行きが不透明で将来を予測することがとても困難な時代となった。SDGsを掲げ多様性を尊重する社会の中で、自分らしく生きていくのに大切なことは何かということ、二十歳の方々に呼びかけた。また、そのような中で、AI、情報技術等の目覚ましい発展、生産年齢人口の大幅な減少、そして、人生100年時代ということが叫ばれている時代だからこそ、他者を尊重すること、好奇心旺盛に「なぜなのか」と探究心を抱くこと、そして、自分自身が関わってよりよい社会に変えていこうと「貴き志」を持って挑戦し続けることが重要だという話をさせていただいた。教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程(4)議案は、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程(5)協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

奥村教育長 日程(6)報告事項である。

報告事項1 令和5年二十歳の集い及び二十歳の議会について

<二十歳の集いを戸田校区は1月4日(水)、戸田以外の16校区は1月8日(日)に、地域独自の手づくりの式典として中学校区ごとの地域分散方式で開催した。出席者数は1,297人、出席率は80.6%となり、一昨年より2.3%減であった。1月8日(日)午後2時から、二十歳の議会を市議会本会議場で開催した。出席者18人のうち3人の二十歳の議会議員から市政について質問があり、市長及び教育長が答弁を行った。一般質問者以外の議員は、わたしにとっての沼津の「きらり」というテーマで一言ずつ発言した。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。当日、二十歳の議会には、土屋委員と佐藤委員も傍聴席にお見えになっていたと思う。感想等があればお願いしたいと思うが、いかがか。
- 土屋委員 傍聴させていただいた。コロナ前と違い、各地域からの代表者である議員の数は絞られていたようだが、議事もスムーズに短時間で行われており、とてもよかったと思う。議員の皆さんは、大学生等で沼津から離れている方がほとんどだったが、沼津のよさを再確認し、また沼津に戻りたいという気持ちや沼津の教育を自分の子供にも受けさせたいという思いを強く感じた。沼津で子育てをできる環境をつくるのは市長の仕事だと思うが、今外に出ている成人たちが沼津に戻ってもらえるとうれしそう思う。
- 奥村教育長 私は戸田校区の山本議員から質問を受けた。山本議員は将来沼津で中学校の教員となって教鞭をとることを希望している方であり、非常に頼もしく、質問内容も小中一貫教育について専門的な内容であったため、答える側としても非常に気持ちが入った。
- 佐藤委員 議員の皆さんが、自分にとっての沼津の「きらり」を発表したが、発表するにあたっては、僕にとって、私にとって、何が「きらり」なのかをいろいろと考えたと思う。先程、生涯学習課長からYouTubeで二十歳の議会を見られるという話があったが、あれだけの発表をしてくださったので、YouTubeを見られない、あるいは、見ない方たちにも知ってもらいたい。この二十歳の議会で議員が発表した沼津の「きらり」を広報か何かで掲載すれば、多くの市民が、こういうことがそうだな、確かにそうだなと気づくのではないかと、発表を聞きながら思った。
- 生涯学習課長 貴重な御意見に感謝する。私どもも多くの方に、この議会の内容について知っていただきたいと思っている。広報ぬまづの掲載以外にも周知する方法をいろいろと考えてまいりたいと思う。
- 奥村教育長 沼津の子供たちが、自分の考えを持ち人前で発表する表現力を養い、人の話を聞き自分の考えをより深めていくために、中学校も含め小学校では「ビブリオバトル」、中学校では「わたしの主張」、そして高校生では「しゃべり場」等の事業を行っていることは、非常に意義がある。沼津の若者である次の100年を託す皆さんに、私たちも本当に期待をしているところである。
- 川口委員 二十歳の集いの出席率が気になっている。今年の年始年末や最近の社会的な傾向は、以前と比べ、コロナ禍だが人混みを避ける意識がだんだん薄れているような印象を受けている。しかし、17中学校区中、出席率が増加しているのが8地区であり、9地区が減少している。これは、例えば、コロナになってしまい、急に行けなくなってしまった人が多かったのかという疑問がある。令和3年は式典を行わず、令和4年は、前年にやらなかったため待ちわびていた人が来たかもしれないが、今年の出席率が少し減っていることがすごく気になる。だんだん二十歳の集いの参加者が減っていってしまうと非常に寂しいため、心配になった。出席状況に関して、急遽欠席になったのか、予め欠席となっていたのか、わかれば教えてほしい。

- 奥村教育長 各地区の青少年を健やかに育てる会が中心になっていると思うが、生涯学習課として事前にある程度出席状況が把握できているのかという部分も含めて、今の質問に対する回答をお願いします。
- 生涯学習課長 対象者には通知を出しているが、出席については、当日会場でふたを開けてみなければわからない状況である。出席率が下がったことについて、コロナの影響があったのかという分析も難しい状況である。沼津市は地域分散方式で行っており、地域の顔見知りの人たちが受付で出迎えて対応してくださる。また、会場も近いということもあり、沼津市は比較的出席率が高い傾向にあるため、これは本市の特長として継続していけたらと考えている。
- 奥村教育長 男女別の出席率を見ると、女性の方が若干出席率が高い。衣装等の関係で休まないという気持ち強いのかかもしれないが、原因はわからない。川口委員がおっしゃるように、年々出席率が下回らなければよいと思う。故郷の同級生に5年後に会うことは大事であり、これ以降同窓会を続けいくと思うが、同級生との結びつきはずっと大事にすべきものだと思う。
- 佐藤委員 知り合いの暁秀出身の子が今年二十歳になり、晴着を見せたいという連絡があったが、その子は暁秀出身者だけの二十歳の集いに出たらしく、校区の方には呼ばれていないというようなことを言っていた。市立高中等部出身者はどこに出席しているのか。
- 生涯学習課長 市立高中等部出身者については、1月8日午後、市立高中等部の当時のPTA役員主催で二十歳の集いを開催したと伺っている。ここ3年開催ができなかったため、3年分をまとめて行い、22歳、21歳、20歳の方が参加したということである。20歳の方は、41人の出席があったと聞いた。80人定員であるため、約50%の方が、参加したということである。
- 奥村教育長 ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

- 奥村教育長 日程(7) その他である。
何かあるか。なければ、残る日程は非公開とする。

報告事項2は、人事案件であるため非公開とする。

- 奥村教育長 以上をもって本日の定例会を閉会する。

午後3時43分 閉会